

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年8月23日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	群馬県	代表者名	知事 山本 一太
担当者部署	産業経済部	連絡先電話番号	027-226-3342
担当者役職		担当者氏名	
住所	371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	積田 有平
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	シェアリングエコノミーの基本的な考え方を、実例を交え、分かりやすく説明いただいた。
アドバイザーへの要望事項	

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月16日	14時00分	15時00分		60
3-2. 派遣場所	会場名	群馬県庁	最寄駅	前橋	
	所在地	群馬県前橋市大手町1-1-1			
	最寄駅からの交通手段	路線バス又はタクシー			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	商政課職員(買い物弱者施策担当係長、係員)	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	・買い物弱者支援においては、商工関係者、商店街、福祉、まちづくりなど幅広い関係者と連携し、深める必要がある。 ・弱者対策、中心市街地活性化、まちづくり等、地域の課題解決に向け、補助金に頼らない、地域の実情を踏まえた新たな手法による解決策が求められている。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	買い物弱者支援の新たな取り組みのきっかけとなるよう、業務の効率化や高付加価値化、業務提携や共同での事業立ち上げ等を実践している企業等の先進事例を紹介し、商工関係者、商店街、福祉、まちづくりなど幅広い関係者との連携を促す。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・シェアリングエコノミーの基本的な考え方 ・アメリカ型、ヨーロッパ型シェアリングエコノミーと、日本のシェアリングエコノミーそれぞれの性格、違い、現状	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・シェアリングエコノミーの基礎、概要 ・海外(アメリカ、ヨーロッパ)と日本のシェアリングエコノミーの現状、相違点	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	シェアリングエコノミー(スキルシェア)を活用した、買い物弱者対策をはじめとする地域課題解決への活用(セミナー当日において、解決事例を紹介いただく予定。)	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 セミナーに係る事前打ち合わせのため、アンケートは行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	地元の自治体と、企業・福祉などの様々な事業者・団体が連携し、地域の実状に即した、持続できる買い物支援。	

### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

※別紙「業務報告(写)」を添付。